

あけましておめでとうございませう

新年にあたり、委員会メンバーの挨拶より SAFETY News を開始させていただきます！

大阪技術部課長 雑賀浩樹

新年あけましておめでとうございませう。昨年は大なり小なりいろいろな事故が起きました。我々の業界でもコンプライアンスに対して非常に厳しくなっておりませう。ただ、残念ながら安全に対して意識の薄い方もいるのが現状です。現場をこなすだけではなく安全を最優先にして設営・本番・撤去を遂行できて初めて現場を全うできたことになると思ひませう。そういう中で安全に対して意識の薄い方たちをも変えていければ、まだまだこの業界も全体的に変わってけるのではないかと私は思ひませう。法令遵守は面倒なことが多いです。でもその面倒くささが当たり前になるように我々が率先して行動していくことが大事です。これからもみなさんの協力が無くては安全は守れませう。本年もどうぞ事故撲滅に向けて頑張りませう。

安全衛生向上委員会委員長 寺島亮輔

今年で、安全衛生向上委員会も9年目の活動に入りました、委員会の活動として、各種安全講習会の実施、Safety News の発行など長期に渡り実施出来たのも各会場様、協力業者様、社員、委員会の皆様のご協力の賜物です。この場をお借りして、御礼申し上げます。『安全を確保する事』『相手を安心させる事』このテーマは、現場で働く上で特に最重要テーマです。どんなに素晴らしいステージを創っても、どんなに素晴らしいショーであったとしても、安全が確保出来ない状況が起れば、たちまち今まで積み上げて来た物が、水の泡になります。安全を確保できる集団を作る為には、時間、手間が当然かかり、さらに現場の安全のリーダーの意識の高さで現場の安全意識はいとも簡単に左右されます。安全衛生向上委員会は10年目に向け、一人一人の安全意識を向上すると共に、常に『安全を確保する事』『相手を安心させる事』を高い意識で注意喚起できるリーダーの育成にも力を行きたいと思ひませう。そして2018年も皆様にとって素晴らしい1年になりますように。

安全衛生向上委員会副委員長 井上啓輔

あけましておめでとうございませう。本年も安全衛生向上委員会ならびに活動へのご協力よろしくおねがいいたします。さて昨年末に「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」が発表され、これにより平成という年号が来年の2019年4月30日までとなりました。今年が平成最後の365日となります。昭和生まれの私と平成生まれの若い方々とは受け取り方が違ひと思ひませうが一つ時代の節目であるということには違ひありません。昭和から平成そして次の時代へと変わりゆくなか社会は「働き方改革」の名の下、大きな変革を遂げようとしていませう。当然、我々の業界においても例外ではなく大きな変革となって押し寄せてくるでしょう。いつの時代からか振り返った際、あの「節目」が成長の礎であったと言えたらと思ひませう。それら「働き方」も含めて委員会活動できればと思ひませう。よろしくおねがいいたします。

知っていますか？『冷え性』と『低体温』の違い

『冷え性＝体温が低い』と勘違いしている方も多いのではないのでしょうか？実はこの二つは似ているようでまったく違ひのもの！そこで今回は冷え症と低体温の違いについて説明しませう。

冷え性は末端

冷え性は実際の暑さ寒さに関わらず、手足などの末端に異常に冷えを感じてしまう状態のことです。実際に体の体温を測ってみると正常なことがほとんどです。色々な原因で手足の血管が収縮したりすることで、血流が悪くなることを一因としておこりませう。

低体温は中枢

低体温は体の中枢の深部体温の温度が低くなる状態のことです。医学的な定義は本来37度くらいである深部体温（内臓の温度）が35度以下になってしまうこと。運動不足・食生活の乱れなどの生活習慣や過度なストレスが原因で起こる場合があります。

